

どうする？上司や同僚との難しい人間関係！

# 自分が変わると相手、状況も変わった

## 「LIGHTプロジェクト」「信仰と仕事セミナー」

LIGHTプロジェクト

そんな中、「信仰

参加者

と仕事コース」を  
ニストリー」(ディ  
レクター・サックス  
知子)の「信仰と仕  
事セミナー」が1月  
14日、オンラインで  
開催された。今回の  
テーマは「福音によ  
る人間関係とは？」  
当日は「LIGHTプロ  
ジェクトの「信仰と  
仕事コース」を受講  
した2人のスピー  
カーから、職場の上  
司や同僚との人間関  
係でストレスを抱え  
ていたが、御言葉に  
立ち神様に祈ること  
を通して、関係が改  
善された体験談を聞  
いた。【中田 朗】

そんな中、「信仰と仕事コース」を受講。そこで気づかせられたのが、▽自分の偶像、▽障害者を見る目、▽仕事への誇り、だった。

「コースのおかげで、イエス様が私を遣わしている、伴走をしてくださる意識を持たれた。だから、新しい職場でいじめを受けても、へこまずに仕事できたと思う」

相川さんをいじめた教員はその後、他校に転勤。相川さんは今も同じ職場で働いている。

「職場環境は穏やかに変わった。今年度、同じクラス担任に



なった先生からは、仕事や生活のことをいろいろ聞かれたので、自分は毎週教会に通っているクリスチャンであると証しできた。そして、他人の自分への注意が、自分が良くなるためのアドバイスでなく、単なる嫌な態度や言葉なら、自分ではなく相手の問題なのでから気にしないです。とアドバイスした。今、良い人間関係を築けていることに感謝している」と語った。

最初のスピーカーは相川りつ子さん。相川さんは大学卒業後、約20年間は別の仕事をしてきたが、2年前から知的障害児の通う特別支援学校の教員として働き始めた。



宮原侑大さん

相川りつ子さん

「神様は、まだ救われていない人にも愛を注いでくださっていることが理解できました。職場では、クリスチャンでない人に愛を示さず、スタップにも全然優しくなかったことを悔い改めた。「こんな上司のためになぜ祈らなきゃあかんのか」とも思ったが、嫌々でも祈った」

さんと。宮原さんは会社員3年目で、飲食店の店舗で働く。現在、2店舗の店長を任されている。

「神様は、まだ救われていない人にも愛を注いでくださっていることが理解できました。職場では、クリスチャンでない人に愛を示さず、スタップにも全然優しくなかったことを悔い改めた。「こんな上司のためになぜ祈らなきゃあかんのか」とも思ったが、嫌々でも祈った」

「祈りはまず自分自身を変え、そして周りの人や環境を変えていくことを知った。イエス様のご介入により、僕たちの抱える悩みが、現実に変えられる。職場は地の塩世の光として神の国を広げて行く場。だが一人では難しい。何か問題が起きた時に、話を聞き助けてくれる人が近くにいてほしい」と結んだ。

すると、徐々に自分の中に変化が起き始めたと言った。「状況は全く変わらなかったが、憎しみが、怒りしかなかった上可に対して、哀れみ、赦しという思いが与えられた。いつもどおりの言動だったが、受け止める姿勢と態度が変えられた。なぜそういう言動をするのか知る必要があると思ったので、話し合いの場を持ったが、そのことで上司の家庭環境や育ちについて聞いた。受け取り方が変わったことで、積極的に上司に歩み寄れるようになった。すると、自分に対する上司の態度も柔らかくなっていった」

二人の体験談を聞いた後、参加者同士でディスカッションの時を持った。